

自分にとって当たり前でも 特に外国人には不思議に 思われるかもしれません



閻 小妹 Yan Xiaomei

学術研究院総合人間科学系 教授
(全学教育機構 初修外国語教育部門 教授)

中国内陸部の西安市生まれ。10代は文化大革命のために勉強ができず、大学入試が復活された1978年、20代半ばで中国最北部のハルビン市にある黒龍江大学に入学。卒業後西安外国語大学に日本語教師として着任。半年後1983年日本留学。東京都立大学(現在の首都大学東京)で日本文学専攻、修士、博士課程を終えて1989年信州大学に着任。

【学生へのメッセージ】

自分にとって当たり前のことでも、ひょっとしたら、他の人、特に外国人には不思議に思われるかもしれません。外国語を習うことは、今までの自分と全く異なる世界に入ることですが、同時に、日本語、日本文化への理解を深めるきっかけになります。その違いの発見がなければ、あるいはそれに対する驚きがなければ、単なる意味不明の記号にしか見えません。大学で今までと違うことを始めるのは、自己発見の第一歩です。外国語を習い、文学作品を読むことで、多様化する社会への理解を深め、これからの人生を豊かにする貴重な準備期間でもあると思います。



春休みに家族で夫の海外研修先スタンフォード大学へ。

20日程のイギリス海外調査に娘を連れて。



冬休みによく乗鞍へスキーに行きました。

File
4

日本文学に魅せられて

日中国交回復の後、日本に関する情報が飛び込んできて、私の住んでいた西安にも日本人観光客が多く来ました。大雁塔^(※1)や碑林博物館^(※2)など、私にとっては日常生活の一部に過ぎない当たり前のものでも、日本人は興味深く見ていました。そのようなことからだんだん日本に好奇心が湧くようになりました。ちょうど、18歳から町工場で何年間も続いた単純労働にもう耐え切れない、なにか環境を変えたい、なにか勉強したい時期でもありました。現状への不満、目の前の変化に対する好奇心、この二つの要因がたまたまぶつかって、日本語、日本文学の道に入ったのです。

大学時代に松尾芭蕉の紀行文『奥の細道』に魅了され、中国語翻訳を試みました。東京都立大学に入って恩師高田衛先生に出会い、江戸小説の研究へ進みました。当時のチューターとゼミ生とは今でも毎月研究会を続け、もう30年以上になります。このような研究仲間に恵まれ、励まされ、論文を書く際の日本語チェックまでお世話になっています。

現在は中国語の授業を担当していますが、専門は日本近世文学です。特に、江戸時代に流行した日本の怪異小説と深く関わりを持つ中国小説との比較研究をやっています。中国文学にしる、日本文学にしる、とりわけ怪異小説では女性を異類として登場させ、描かれることが多く見られます。これらの異類は、特殊な能力を持ちながら狐や蛇になったりしますが、人間に化けて秩序のある社会、

道徳論理に反する行動に出て、男たちを誘惑したり、どこまでも追いかけていくこともあります。しかし、異類は最終的に人間に殺されたり、閉じ込められたりする運命です。なぜこういう現象があったのか、その背後にある女性への眼差しはどういうものなのか、テキストへの解明を通して新しい読み方の発見、追求することが、今の研究テーマです。

完璧な子育てはないことを 言い聞かせながら

信大に赴任してから28年間、週末婚、月末婚の状態が続いています。当初、1歳の娘を保育園に預けてから、論文の執筆や授業に夢中で、育児といえば食事を与え、早く寝かせるだけでした。子どもが早く静かに寝れば、これでよし。ふだん娘と二人で、いわゆる母子家庭のようですが、土日、夏・冬・春休みの期間、大学の同期で、東京の私立大学に勤めている夫と一緒に子育てに全面協力します。自分たちの海外調査には娘をよく連れて行きますが、学校のクラブ活動や行事とぶつかると、二人とも仕事と研究をどうしても優先させるので、子どもの気持ちを無視しがちでした。

日本生まれの娘が小中学生の時、自分が中国人だと理解ができず、名前がいじめられたことや父親がすぐそばにいないことなど、悩みごとが絶えませんでした。いま振り返ってみると、子どもの悩みにもっと耳を傾けていたらと、心残りがあります。しかし、完璧な子育てはないことをいつも自分に言い聞かせています。

25年前から松本自然農法野菜の会に出会って、年に何回も梓川村の農家で、夫、娘と一緒に農作業を体験しています。美味しいお米、野菜を手に入れ、食事作りも楽しくなりました。こだわりは玄米酵素ご飯、全粒粉の手作りパン(フライパンで作る西安式のナンのようなもの)。新鮮で、無農薬の安全な食材を使っているため、手間をかけなくても、同じ料理を繰り返し作っても、夫も娘もおいしいと褒めてくれるし、私の料理を自慢してくれています。そのおかげで、娘はほとんど病気をせずに健康に成長し、社会人になった今は同じように食材、手作り料理にこだわりはじめています。

(※1) 652年、唐の高僧「玄奘三蔵」がインドから持ち帰った経典や仏像などを保存するために建立した塔。現在世界遺産。

(※2) 石碑・墓碑・金石文・墓誌銘・石彫刻を多数収蔵し、「中国最大の石造の書庫」とも称される博物館。現在世界遺産。

●● 仕事の相棒!

楽しい読書時間



論文は挫折することはありますが、翻訳は時間をかければ、確実に進み、達成感も大きい。しかも、文学、心理学、美術史など様々な分野の名著を翻訳することは、私にとって、楽しい贅沢な読書時間でもあります。